



**2017 J2 ■順位表■ 第13節**

勝点、得点、失点、得失点差、  
岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	湘南	27p	17	10	+7	A△
2	横浜FC	25p	20	7	+13	H●
3	福岡	24p	14	11	+3	
4	東京V	23p	17	9	+8	A●
5	大分	23p	17	12	+5	H●
6	名古屋	22p	22	17	+5	A△
7	徳島	21p	16	14	+2	A△
8	愛媛	21p	15	13	+2	
9	長崎	20p	17	15	+2	
10	松本	19p	16	9	+7	H●
11	岐阜	19p	18	15	+3	---
12	千葉	19p	18	16	+2	
13	町田	17p	15	14	+1	AO
14	水戸	17p	13	13	0	HO
15	京都	16p	16	17	-1	
16	山形	16p	10	12	-2	
17	岡山	15p	12	18	-6	
18	金沢	12p	10	17	-7	HO
19	熊本	11p	13	21	-8	
20	山口	10p	10	18	-8	H△
21	讃岐	9p	12	19	-7	AO
22	群馬	4p	7	28	-21	AO

**次回HomeGame**

第15節 vs. V・ファーレン長崎  
5/21 (日) 19:00  
@岐阜メモリアルセンター  
長良川競技場

**大酒場 ホムラン** TEL. 058-263-5201  
名鉄岐阜駅前 (三菱東京UFJ銀行隣り)  
年中無休 午後3時から営業

**Living in Woods**  
本庄工業株式会社  
<http://www.honjo-woodream.com/>

**岡田歯科医院**  
岐阜市加納新本町1-23  
tel: 058-273-8998

**ALADDIN**  
何も無い店だけど..  
心の花が咲く..  
何も無い店だけど..  
心癒される..  
忘れかけていた喫茶店がある  
岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

today's guest : **□アツソ熊本**

2016 J2 12勝10分20敗 勝ち点46:16位

直近の対決と結果

2016/11/12
J2-41節@うますた
<b>熊本 1-0 岐阜</b>

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	ロアッソ熊本
2017/05/13 J2-13節@鳴門大塚 徳島 1-1 岐阜	2017/05/13 J2-13節@えがおS 熊本 0-1 湘南
2017/05/07 J2-12節@長良川 岐阜 1-2 大分	2017/05/07 J2-12節@えがおS 熊本 1-2 群馬
2017/05/03 J2-11節@正田スタ 群馬 0-2 岐阜	2017/05/03 J2-11節@町田 町田 2-1 熊本

●4月から、引き分けを挟んで6戦無敗・3連勝と徐々に調子を上げてきたFC岐阜。GW3連戦での3連勝が懸かった5/7(日)第12節・ホーム大分戦だったが、岐阜の対処法を研究してきた大分に苦戦する。押し込みながら自分たちのミスで2失点。1点を返したものの、1-2で6試合ぶりの敗戦、残念ながらGW3連勝は達成できなかった。ここで一旦5日間を挟んで、再び訪れる中3日での3連戦。その初戦となる5/13(土)第13節・アウェイ徳島戦は、好調・徳島の攻撃に圧倒されるものの、GK#25ピクトルがビッグセーブを連発する中で無失点で耐え凌ぐと、訪れたチャンスで先制点を挙げる。このまま逃げ切れるかと思われたが、追加タイムの最後のプレーで失点、そのまま試合終了という非常に後味の悪い結果になってしまった。

この2試合の結果、FC岐阜は現在11位。やはりこのクラス・中位の順位では、2試合で積み上げた勝ち点が1だけでは順位が下がってしまう。プレーオフ圏内(6位以上)は勝ち点差3に、J1自動昇格(2位以上)も勝ち点差6に開いてしまった。6位(名古屋)と16位(山形)との勝ち点差は6で中位の大混戦状態はそれほど変わってはいないが、上位チームが少しずつ抜け出している印象だ。また、自動降格圏(今季は21位以下)との勝ち点差は10のまま。この位置で踏み留まり、再び上昇気流に乗るためには、何としても、今日のホーム戦では勝利と勝ち点3を掴んでおきたいところだ。

さて、今節は5月後半の3連戦第2弾、その2戦目となる今季初の平日ナイターだ。その対戦相手は、現在19位のロアッソ熊本。昨シーズンは熊本地震の影響でチームの調子を崩しながらも16位。今シーズンは、昨季の絶対的エース清武功暉のレンタル移籍満了(その後、千葉に完全移籍)の影響で新たなチーム作りに着手しており、現在は4連敗中。少し苦戦している状況だが、前節は湘南と最後まで互角の勝負を繰り広げており、油断の出来る相手ではない。

また熊本と岐阜は、共に2008年にJリーグに昇格を決めた“J昇格同期”だが、Jリーグでの通算戦績は5勝6分9敗・24得点28失点と負け越し。しかも岐阜はホーム戦での成績も悪く、通算1勝4分4敗・7得点11失点。昨シーズンの第20節・6/26(日)ホーム戦では、終盤に突き放され追加タイムに瀧谷亮のゴールで同点に追いついたが更に突き放され、2-3での悔しい敗戦を経験し、第41節・11/12(土)アウェイ戦では先制点を許し、追いつけないまま0-1で敗れて、J2残留の決定を最終節に持ち越した。これらの悔しい記憶を払拭するためにも、まずは今シーズンの初対戦が、中3日での開催がホームだという優位を活かして、しっかりと勝ちきる試合をしてもらいたいところだ。熊本で最も注意すべき選手は、今季名古屋から移籍した#11グスタボだろう。開幕当初はチームにもフィットできずにいたが、第8節でスタメン起用されると、その後6試合で3ゴールと好調だ。また、昨シーズン熊本から岐阜にレンタル移籍していた#14田中達也の出場・帯同は不確定で、岐阜サポの心情的には勇姿を見たいところだが今節はその活躍を許す訳にはいかない。

もちろん東日本もそうだが、熊本も復興には道半ばの状況だ。試合の前後のスタジアム周辺では、被災地に暮らす“サッカーファミリー”に対して温かい支援を、そして試合中のピッチでは一切手を抜かない激しい試合を。それが彼らに対するリスペクトではないだろうか。それに僕らは、勝利を対戦相手にプレゼントするほど勝つことに飽きている訳ではないはずだ。もっと、FC岐阜の勝利を。中3日で戦う選手たちの、力となる拍手や声援を最後まで送り、そして勝利の万歳四唱を選手たちと共に叫ぼう。(ささたく)

「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。休:月曜日

**投稿募集!!**  
gidaidohri@gmail.com

## 【第12節】岐阜1-2大分

●GW最終日。初夏とは思えないような陽気の中で迎える、中3日・3連戦の最終戦。パス主体のサッカーをする今年の岐阜にとっては、雨よりはマシだけれど想定以上の暑さは選手たちの足が止まりやすくなる。ましてやスタメン固定での3連戦では…しかも何故か大分とは相性が悪いし、今年の大分はJ3から昇格してきたばかりとは思えないような試合ぶり。ちょっと不安な気持ちで、僕はキックオフを迎えた。案の定、既に各チームから注目？されている今年のFC岐阜、しっかり研究されていると感じた。実際、大分は岐阜の選手の特徴や戦術を把握して、ボールの奪いどころを設定して強弱をつけた守備の構築をしてきた。後ろの方では自由にボールを回せるけれど、前の方になると急に守備網が厳しく狭まったり、あるいはボールが経由される選手やサイドチェンジの際を狙われたり。その大分の守備に対して、なかなか効果的な攻撃を仕掛けられない岐阜。3月に比べると、4月の岐阜は縦パスで突破を試みる事が多くなり、それが攻撃面での活性化に繋がったのだと思うけれど、しかし、シンプルな中央突破やミドルシュートを撃ってゴール前の門をこじ開けるといった工夫があまり見られなかったなあ…。とはいえ、相手にボールを跳ね返されてカウンター攻撃を受けるのが、コンパクトなエリアでパスを繋いで攻めていく大木監督のサッカーには一番怖いのだろうかということも理解できる訳で…(苦笑)。それでも、試合は岐阜のペース。惜しいシーンが何度も見られ、あと少しで得点…と押し押しの状況で、カウンターで失点してしまうのもよくあること…というか、去年までのうちの、唯一とも言っている得点パターンです(苦笑)。後半、徐々に足が止まりはじめた岐阜の選手たちの隙を突かれ、そこにミスが重なり、実に勿体ない失点。2失点目も、コンパクトな守備の向こう側のスペースを使われてしまった。意地で1点を返したのは評価できるけれど、反撃もそこまで。6試合振りの、悔しい敗戦となってしまった。J2の全チームが出来るとは思えないけれど、“今”のFC岐阜の攻略法を着実に実践してきた大分。これを乗り越えるためには、更にステップアップしたサッカーが必要になる。けれど、それを魅せてくれると僕は信じているし、期待している。(ささたく)

●う～ん、久々の敗戦。黄金週間最終日の、夕方の試合にもかかわらず集まってくれた7千人近い岐阜サポみんなと万歳四唱やりたかったな。そういう苦い思いは少なからずある。前半の、ナンちゃんのボレーとか、主将のFKからのパウロのヘッドとかが決まっていたら……。それ以外にも、この試合で枠内に飛んだシュートはけっこうあった。いずれも、勢いやパンチ力に欠けていたのが残念だ。でも、大分にもそういう場面は同じくらいあったから、ウチに致命的なミス(クリアが味方に当たって、相手FWへの絶好のパスになるという不運)があった分、この結果は妥当と言えるかもしれない。オマケにずいぶんと研究されていたように思う。この試合では、ウチのセールス・ポイント？でもあるシシからのサイドチェンジがほとんど見られなかった。シシに対するチャージもそうだが、逆サイドにいるパウロや大本をフリーにしてくれなかった大分の作戦勝ち。もしくは、狙い通りに運ばれたとも言える。そのせいで、パスはつながるけど、決定的な場面には至らないという3月の松本戦や横浜戦を思い起こさせるような展開になってしまった。それでも、オウンゴールとはいえ、一点差に詰め寄り、試合終了までスタジアム全体を熱い雰囲気に出れたことはよかった。3月の頃より成長していると思いたい。次節以降も厳しい日程、手ごわい相手が続くけれども、勝利をつかむために、共に闘いましょう！

それにしても、久しぶりに見たJリーグ女子マネの佐藤美希嬢。イイね～。遠目にも雰囲気感じた。せっかく、センターサークル応援団やってくれたんだから、いっしょに万歳四唱やり

たかったな。今度来てくれた時はいっしょにやれるようにしましょう！長良川に来てくれてありがとうございました！！(ぐん)

●試合開始早々から、岐阜のサッカーが『戻っちゃった』感じがした。ボールは動くのに人が動かない。みんな足元で繋ごうとしている。だからパス数は増えるが局面は打開出来ない。GW3連戦の最後、選手の疲労は明らかだ。対する大分は、そんな岐阜を正しく殺す策で来た。ブロックを作って耐え、伊佐&後藤のカウンター。片野坂監督の手はこれまで他チームが見せてきた「岐阜殺し策」をアップグレードさせた「ハイブリッド岐阜殺し策」だった。岐阜が片側サイドでまわしている時もブロックをボールに寄せるだけでなく、パウロ&大本をきっちりマークしていた。これで、シシや庄司が左から右に振った時も彼らがフリーで仕掛ける回数が激減。岐阜が中から行こうとすると、ブロックはきっちり中に収束する。守備する大分の選手は疲れただろうけれど「このサッカーで勝てる！」という確信があれば、遂行出来る。片野坂監督は「短い時間で準備した」と言っていたけれど、そんなはずないでしょう。もう、いけずっ(笑)。そんな感じで2点を奪われたけれど、よく1点返したよ。まだ元気だったコーヘイの仕掛けが生きたね。おかげで試合終了間際はスタンドも結構盛り上がった。

「FC岐阜の『勝った負けた』」ではなく「大木サッカーの『勝った負けた』」に今後おつきあいしていくことになるのだな、ということを確認した。大木監督は、対戦相手や岐阜の選手の状況でサッカーを変えたりはしない。第一目標は「大木サッカー」であり「岐阜の勝利」ではない。言い方を変えるなら、「大木サッカーをやって岐阜が勝つ」が唯一かつ究極の目標。リアリストではなくロマンチスト。結果が出るまで長い時間がかかるだろう……というか、就任数か月でここまで結果が出ていることの方が特殊なのかもしれない。いいではないか。胸スポンサー様も『特殊で何が悪い』と仰っている。

とはいえ、心配なのもまさにその点。「就任数か月でここまで展開出来た大木サッカー」に対応できる選手に限られていることだ。スタメン固定、サブメンバーほぼ固定、選手交代もほぼ固定。「大木サッカー」はスタイル原理主義だから選手によってサッカーが変わることがない。誰が入っても大木サッカーを具現化できないといけない。庄司や福村は開幕からスタメンでフル出場だ。そして、これから岐阜は暑くなる。いまの岐阜の好調は「主力にケガ人や調子を崩した選手がいない」から実現出来ている。サブメンバーの資質向上は喫緊の課題となっていると思う。(吉田 Casting)

## 【ユース】 クラブユース選手権東海大会

●我らがFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)が参加しているG1リーグは総体の県予選の為に休みとなっていますが、今年もこの時期に開催されるクラブユース選手権の東海大会に参戦しています。まずは1次リーグで5/14にホンダFCとの試合が行われ3対1で勝利しました！この後は5/21に浜松市でメジャーFC戦、5/28に豊田市で愛知FC戦が予定されています。そしてこの4チーム中で上位2チームに入れば最終トーナメントに参戦する事が出来ます。頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC岐阜ユース！！  
※試合会場・時間は東海クラブユースサッカー協会、チームの公式サイトで必ず確認して下さい。(シュナ)

## 【第13節】徳島 1-1 岐阜

●4月からの無敗は6試合で黒星が付いてしまい、ここから仕切り直しの一戦。しかし、昨シーズンと違って今年の徳島は明らかに強い。これも今季J2で活躍中(?)のスペイン人監督の影響か。それに、今年は岐阜県出身・帝京可児高卒で鹿島に入団した#26 杉本太郎がレンタルで在籍して、スタメンで出場している。彼の活躍は嬉しいけれど、ただ徳島で活躍しなくなっただけで、地元でJ2のクラブはあるでしょうに…(苦笑)。

さて、岐阜は#14 風間宏矢が9試合ぶりにスタメン。大分に負けたからメンバー変更は理解できるし#24 難波は前線で走り回ってるから疲労回復も納得だけど、でも岐阜が勝てるようになったのは、難波がスタメン入りするようになってからというのも、また事実な訳で…。

試合は終始、徳島のペースだった。守備の寄せが厳しくボールを奪われ、何度も決定機を作られ、その度毎に徳島のフィニッシュ精度に助けられるか、あるいは#25 GKビクトルのビッグセーブに助けられるか。正に“守護神”、神様仏様ビクトル様って拝みたくなるぐらいの活躍。GKの活躍が目立つ試合ってのは、内容としては本当はダメなんだけれども(苦笑)、その動きは「こりゃ今日はゴール決まらないんじゃないか？」って徳島の選手に思わせたんじゃないかな。それぐらいに凄かった。

そして#24 難波を投入してから流れが変わり、#28 永島悠史の先制ゴール、そして守備固め…と、ここまでは、劣勢ながらも勝つ時の理想的な展開。で、追加タイムが予定を過ぎ、審判が時計を見て笛をくわえ(たと僕は思う)、両腕を挙げたら、よしこれで勝ったと思うやんか、普通…(溜息)。そこでルーズボールが徳島の選手に渡ったからとプレーオン。これで岐阜の選手たちの集中が切れたとは思いたくないけれど、その後3秒間で失点し、そして本当に試合終了の笛。何度も追加タイムでの失点は目にしてきたけれど、ここまで“目の前で勝利が逃げる瞬間”を味わったのは、初めてかもしれない。いやー、岐阜サポやってると、まだまだメンタル鍛えられるわ(苦笑)。まあ、引き分けにされて悔しい気持ちもあるけれど、試合の流れから言えば負けていたアウェイでの勝ち点1と、気持ちを切り替えて、次の試合に臨むしかない。サッカーの神様に「君らは、まだまだだよ」と諭されたような気持ちになった。(ささたく)

●「勝った！」と思うな、思えば負けよ……、あ、いや、負けてないよ。負けてはいないんだけど、ね。負けたも同然という気持ちと負けなくてよかったという気持ちが相半ばする。そんな感じかな？ま、監督自ら「勝った！」と思いましたがと告白するくらいなんだから、いわんやピッチレベルをや。あんなに高く両手を上げてるとは、ゴール裏からはわかりませんでした。やはり、「笛が鳴るまでが試合です。」ということですね。あと3秒。たぶん、あと3秒くらいをガマンできれば勝利を手中に収めることができたはず。だけど、鳴門の渦潮は甘くなかった。苦い後味が残る。

でもね。あの内容で勝ち点3を得ようと言うのは虫が良すぎな気がしないでもない。総括すれば、前半は相手のシュートミスに、後半はビクトルに救われてたからね。監督が言うようにフェアな結果、勝ち点1を良しとするしかないよね。それだけ、徳島の攻撃はキケンな香りがプンプンしてた。ただ、60分前後のウチの攻撃は圧巻だった。ものすごく、ワクワクしたし、ゴール裏のボルテージもとんでもなく上がった。あの時間帯に一点決めてたら。そして、先制した後の決定機を決めてたら。ああいうのを決めとかないとね。

しかし、前節の大分といい、今節の徳島といい、なかなか一筋縄ではいかないね。徳島とは長良川での試合の他に、来月の天皇杯でも対戦が決まっている。今度こそ、きっちり勝ち切りたいね。それにしても、徳島も苦杯を喫した東京同様、監督がスペイン出身。今季のJ2は「スペイン」がキーワー

ド……？かもしれない。

それから、今季の徳島には地元岐阜バモス→帝京可児の杉本太郎選手がいた。鹿島からレンタルされてたのを、この試合の前まで知らなかった。いや〜、独特の動きで、チャンスを何度か作られたし、決められそうだった。いつか、ウチに来てくれないかな？そんな願望も温めておきます。(ぐん)

●メジャーリーグ(野球)の格言に『試合が終わるまで試合は終わらない(It ain't over till it's over)』というのがあるが、それをまざまざと思い知らされた。ぼくはDAZNで見ていたけれど、「脱力するな」というのは無理な注文だ。

徳島は強かった。『普通の決定力』があったら、岐阜は0-2か0-3で完敗していただろう。ビクトルのセーブも「神がかり」だった。そんな中、向こうが攻め疲れた時間帯での永島の先制点。このまま逃げ切れたら、岐阜の強さは本物だ。でも、やはりまだそうではなかった……ということだね。旧知の徳島サポの友人に「決着は長良川でつけよう」と伝えると、「こっちはシュートを練習しておくから、そっちは試合の閉じ方を練習しろ」とキツい返しを喰らった(笑)。

もちろん、あの主審の腕の動きについては言いたいことがいっぱいある。でも、救いは2つあって、1つは「選手がプレーを止めなかった」こと。全員がボールと相手選手に対して集中していて、主審の腕の動きに惑わされていなかった。おそらく、あの動きを見て「勝った！」とってしまったのはピッチの外にいた観客・視聴者とベンチの監督・スタッフ・選手たちだけだろう。そしてもう1つが、この「勝ち点2を失った」ことが現在の岐阜に与える影響がそれほど大きくないこと。もし、同じ事態が昨季の終盤に起きていたら……ほら、胃のあたりがおかしくなってくるでしょう？(苦笑)

とはいえ、思い出してみると、昨季の第28節・アウェー松本戦で岐阜は試合終了間際の瀧谷のゴールで同点に追いついた。松本からしたら今回の岐阜同様に「勝ち点2を失った」わけだが、結果的にこの「勝ち点2」で松本は昨季を3位で終え、昇格プレーオフ初戦で岡山に敗れてJ1昇格を逃している。もし、あの瀧谷のヘッドがなくて松本が勝利していたら松本はJ2優勝だったのだ。そう考えると、「勝ち点に対してはどれだけ貪欲でも構わない」ということになる。今季が終わった時に「あの勝ち点2があれば……」と悔しがることのないようにしたいよね。

しかし、今季の岐阜は快進撃やそのサッカーの質もだけれど、ホーム松本戦のユニフォーム問題もあったし、何かとトピックを作ってくれるよね。ホント、飽きさせない。(吉田铸造)

## 【セカンド】東海リーグ、開幕

●FC岐阜 SECOND(以下『セカンド』)は東海リーグ1部を戦っています。5/13(土)に笠松の岐阜県フットボールセンター・天然芝コートで行われた第9節(第2節と入れ替え開催)・FC.ISE-SHIMA戦を観てきました。朝から雨でしたが、試合が始まる正午にはなんとか上がってくれてよかったです。試合はスコアレスドローに終わりましたが、テレビで放送された天皇杯・県予選決勝(岐阜経済大に0-3で敗戦)やGWに行われた全社・県予選決勝(NK可児に0-1で敗戦)と比べると「チームが出来てきたな」と希望を抱かせるものでした。5/7に行われた第1節・Chukyo Univ.FC戦も0-3で敗れているので、ようやくこれで連敗脱出です。次の試合、5/21(日)12:00開始の第3節・東海学園FC戦もホーム開催(笠松の岐阜県フットボールセンター)になります。トップチームの試合(ホーム長崎戦)は19:00開始なので、ハシゴ観戦も可能です。※セカンドの試合日程は、東海社会人サッカーリーグ公式サイトでご確認ください。(吉田铸造)

